



時代の転換期、あなたはどう動く

真庭なりわい塾

オンライン特別セミナー

アフターコロナ を生きる、 未来のあなたへ

～7つの視座から明日を生きるヒントを探る～



全7回

2020年 9月～2021年 3月
毎月第3土曜日 10:00～11:30

● 参加費

各回 1,000円

(ZOOMウェビナーを活用・一部録画収録あり・要事前登録)



真庭なりわい塾は、岡山県真庭市をフィールドに、はるか昔から紡いできた農山村の暮らしに学びながら、これからの生き方、働き方、社会のカタチを考える人材育成塾です。

これまで私たちの社会は、たとえばリーマンショックを境に、あるいは3.11後に大きく舵を切り、持続可能なライフスタイルを求める方向へ転換しようとしたはずですが、実際には、そうはなりません。ところが、このコロナ禍によって再び、人間社会や世界経済の弱点、そして地球規模の課題が露わとなり、時代は大きな転換期を迎えようとしています。

このセミナーでは、各分野の第一線で活躍する多彩なゲストと、真庭なりわい塾の塾長・副塾長による鼎談を通して、今まさに変容しつつある社会と心の在り処をみつめつつ、明日を生きるための指針と希望を見出す場を提供します。

子どもたちの未来を真剣に考えたい。これまでの生き方、働き方を変えたい。そして真庭市をはじめ、各地の農山村に次の時代の可能性を感じていらっしゃる方も、ぜひ、ご参加ください。

真庭市は岡山県北部に位置する人口約45,000人のまちです。農林業が盛んなまちで人々は真庭ライフスタイルを楽しみながら暮らしています。そんなまちで始まった「真庭なりわい塾」。毎年、都市部から生き方や働き方に疑問を持つ約20人の塾生が年に全8回の講座に通い、これまで80人以上の塾生がつながりました。しかし、今年度はコロナ禍により通う形の開催は中止。アフターコロナを生き抜くための豊かな暮らしを農山村から提案するためにオンラインセミナーを企画したものです。真庭とつながり、お互いが支え合い、学び合う輪を広げていきましょう。

プログラム・講師

#01 9/19(土)



“**パンデミックを生きる指針**
～歴史研究のアプローチ～”

ふじはら たつし
藤原 辰史

京大大学人文科学研究所准教授・農業史研究者

主に20世紀の食と農の歴史や思想を研究。『ナチスのキッチン』で第1回河合準雄学芸賞を受賞。コロナ禍にいかに関わるべきかを歴史学の立場から考察したテキスト「パンデミックを生きる指針」は、4月にネット上で公開されるやSNS等で話題に。1週間に30万件超のアクセスがあった。

#02 10/17(土)



“**しあわせの経済**
～経済成長がなければ、
私たちは豊かに生きられないのか～”

つじしんいち
辻 信一

文化人類学者・環境＝文化アクティビスト

「ナマケモノ倶楽部」代表。「スローライフ」、「ハチドリ」のひとしずく、「100万人のキャンドルナイト」、「しあわせの経済」などのキャンペーンを展開する。著書に「スロー・イズ・ビューティフル」等、映像作品に『アジアの収智』（DVDブックシリーズ、現在8巻）等。最新刊は『常世の舟を漕ぎて（熟成版）』。

#03 11/21(土)



“**自然界の逆襲**
～コロナ・気候変動・
生態系危機の原因は何か～”

ごかこういち
五箇 公一

国立環境研究所生態リスク評価・
対策研究室室長・保全生態学者

専門は生態学・ダニ学。外来生物や化学物質による生態影響評価の研究プロジェクトリーダーを勤める。フジテレビ「全力！脱タイムズ」等、テレビ番組にも多数出演し、話題に。環境省の「コロナ後の日本の未来と希望を考える会～気候危機を乗り越え、新しい自然共生を目指す～」では座長を務める。

#04 12/19(土)



“**コロナ禍に改めて問う**
農山村の価値”

うちやまたかし
内山 節

哲学者

東京と群馬県上野村を往復しながら暮らす、全国にファンをもつ著名な哲学者。自然と人間、労働のあり方、コミュニティ（共同体）等について、やさしい言葉で深い考察を展開する。著書に「日本人はなぜキッチンにだまされなくなったのか」「内山節のローカリズム原論」「新・幸福論」等多数。

#05 1/16(土)



“**共に生きるための経済**～宇沢弘文の思想に学ぶ～”

ささきみおの
佐々木 実

ジャーナリスト

日本経済新聞社を経てフリーランスに。竹中平蔵氏の人生を追った評伝『市場と権力「改革」に悪かれた経済学者の肖像』の取材過程で「ノーベル経済学賞にもっとも近かった日本人」といわれた故・宇沢弘文氏と出会う。後に著した『資本主義と闘った男 宇沢弘文と経済学の世界』は600頁を超える大著。



うらべまり
占部 まり

医師・宇沢国際学館取締役

故・宇沢弘文氏の長女。東京慈恵医科大学卒業。1992～4年にメイヨークリニック、現在は地域医療の充実を目指し内科医として勤務。2014年宇沢氏の死去に伴い、宇沢国際学館取締役に就任。「社会的共通資本」をはじめとする宇沢氏の経済理論の普及に尽力する。

#06 2/20(土)



“**オンラインは万能か**
～人間の五感と身体性～”

やまざわじゅいち
山極 寿一

第26代京都大学総長・霊長類学者

理学博士。日本モンキーセンター研究員、京大霊長類研究所助手、京大大学院理学研究科教授を経て、2014年第26代京大総長に就任。霊長類学者。特にゴリラ研究の第一人者として知られ、類人猿の行動や生態をもとに人間社会の由来を探る。『ゴリラからの警告「人間社会、ここがおいしい」』等、著書多数。

#07 3/20(土)



“**真庭なりわい塾が目指すもの**
～里山資本主義の明日へ～”

おおたのぼる
太田 昇

岡山県真庭市長

岡山県久世町（現・真庭市）出身。京都大学法学部を卒業後、京都府庁に入庁。2010年、京都府副知事に就任。2013年、副知事を辞職。真庭市長選挙に出馬して当選。現在、2期目。豊かな木質資源を活用したバイオマス発電やCLT（Cross Laminated Timber）の普及、地域人材育成等に戦略的に取り組む。

聞き手



しづわわじゅいち 真庭なりわい塾長
Iwasawa Shuichi NPO法人共存の森ネットワーク理事長

東京農業大学大学院卒業後、JICA専門家としてパラグアイに赴任。帰国後、循環型都市「ハウステンボス」の企画・運営に携わる。現在、NPO法人理事長として、森づくり、地域づくり、人づくりの活動を実践。真庭市では、「真庭バイオエネルギー株式会社」代表取締役等を歴任。明治の大実業家・渋澤栄一の曾孫にあたる。



こまみやひろお 真庭なりわい副塾長
Komamiya Hiroo NPO法人地域再生機構理事長

東京大学中退。幼少よりゲーデルなど、数学基礎論について父に聞かされて育つ。学生時代は年に120日以上山中で過ごし、海外遠征は10回以上。高山研究所を経て、(株)ヘルス・プログラミング設立。その後、NPO活動を開始。食やエネルギーの自給と地域自治の再生による、持続可能な社会の実現を目指す。

真庭なりわい塾
オンライン特別セミナー

お問い合わせ

真庭なりわい塾実行委員会

〒717-3292 岡山県真庭市久世 2927-2

真庭市交流定住推進課内（担当：福井・小藤）

Tel ▶ 0867-42-1179

Fax ▶ 0867-42-1353

mail ▶ koryu@city.maniwa.lg.jp

お申し込みはHPから

真庭なりわい塾



<https://maniwa-nariwai.org/>

申し込みいただいた方には後日、当日の配信動画のリンクをご案内します。